

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 前期課程エキスパートコース学生を対象とするカリキュラムの適切性を継続的に検証し、必要に応じて改善する。	→ 「プログラム別学生数」「専攻科目」「履修科目」「学生に対するプログラム選択理由等についてのアンケート調査の実施」「拡大大学院問題検討委員会における調査結果の分析および改善提案」	B
2. 前期課程社会人入学者を対象とするリサーチワークの拡大について検討し、順次実施する。	→ 「リサーチワーク対応の科目数」「前期課程社会人入学者を対象とする研究指導のあり方についてのアンケート調査の実施」「拡大大学院問題検討委員会における検討およびその進捗状況の報告」「規定改正ないし内規改正」	C
3. 前期課程および後期課程における学生の多様な履修期待に対応するために特講科目等を活用する。	→ 「(副題の異なる)特講科目等の開講状況」「特講科目等の履修者数」「特講科目等を開講するための各プログラムおよびプログラム間の調整手続の整備状況」	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

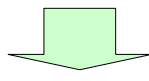
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目6.2.1	(方針) 前期課程においては、5プログラムごとに必修科目(演習科目および文献研究科目)と選択必修科目、選択科目を指定し、所定の単位数の履修を求めている。後期課程においては、修了必要要件として単位取得は要求していないが、指導教員による研究演習を各年次において履修することを履修心得上で求めている。 (現状説明) 2009年度においては、前期課程の各プログラムにおいて、コア科目と選択的コア科目を区分し、履修上の指針とすると共に、同一名称科目、同一教員担当科目についての修了要件に関する内規を改正した。
★ 小項目6.2.2	(現状説明) 前期課程・後期課程共に、各プログラムないし専攻ごとに高度な専門科目を特講科目として適宜開講できる体制を整えた。
★ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	2010年度時間割においてビジネス法務特講および公共政策特講の活用が図られている。
その他	



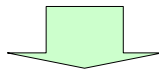
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】  
なし

【学内委員】

○現状説明では、修了のために必要な単位数などの要件について述べています。しかし、小項目で評価することを求めているのは教育目標、学位授与の方針に基づき、目標を達成し、方針にそった学位を授与することを担保するカリキュラムが編成されているか、という点です。求められている評価にそった記述が望まれます。

○取り組みが進捗中と判断されます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★各プログラムの科目配置の検討と適正化の責任者として、2010年度より各プログラムに世話人を置いている。

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>

--	--